

広報 NASUKARASUYAMA

那須烏山

— No.76 —

2012
January

1

Public Relations Magazine
of Nasukarasuyama City

向田ふれあいの里事業紹介……………	2
那須烏山マラソン大会……………	4
市議会定例会……………	6
市政情報……………	8
まちの話題……………	12
インフォメーション……………	14



べったん、べったん!(12月20日烏山みどり幼稚園もちつき)

ふれあいの里

誰かと話したい
行くところが欲しい
誰かとお茶や食事がしたい
そんな人をお待ちしています

高齢者が地域で元気に過ごすための拠点施設

11月19日に旧向田小学校の一部を改修した「向田ふれあいの里」がオープンしました。この施設は、廃校を活用し多機能で複合的な高齢者の支援拠点として整備したもので、地域が組織する向田ふれあいの里施設管理運営委員会（永野益夫会長）が運営しています。

本市では、日中一人暮らしや高齢者世帯、一人暮らし世帯が増加し、不安を感じる人が多くなっています。そこで、この地

いきいきふれあいレストラン

【食事機能支援部会】



高齢者の閉じこもり予防とともに、低栄養等を予防する食事に関する支援を実

域で最後まで元気に暮らすために何が必要で、地域でできることは何だろうという思いから、施設運営の企画が始まりました。同委員会では、どんな機能が必要かを話し合い、「いきいきふれあいレストラン」地域の茶の間「いきいきふれあい塾」の3事業を展開しています。

向田ふれあいの里について、詳しくは健康福祉課 ☎ 0287-88-7115 までお問い合わせください。

地域の茶の間

【居場所支援部会】



高齢者世帯、日中独居等の高齢者が集まり、生きがいを感じられるような居場

一緒に将来を考えましょう 永野益夫会長

向田ふれあいの里は、高齢者が住み慣れた地域で、楽しく元気に暮らすために必要となる施設です。地域の人が協力して自ら考え、施設管理や運営を行っています。また、始まったばかりで試行錯誤の段階ですが、今後も皆さんのご意見を聞きながら、事業内容を充実させていきますので、



気軽に超越してください。施設を利用することで、一緒に自分の将来や生き方について考えてみましょう。

いきいきふれあい塾

【介護予防支援部会】



高齢者の運動機能低下及び認知症予防を目的にした運動教室を実施します。（自

どんなサービスがあるの？

向田

施します。(1週間前までに要予約)

日時：毎週火曜日

午前11時30分～午後1時

場所：多目的室

料金：市内の65歳以上の高齢者は300円、それ以外は500円(昼食代)

担当：石川 ☎0287-84-2557

根本 ☎0287-83-0123

所をつくります。(1週間前までに要予約)

日時：毎週火曜日

午前10時～午後2時

場所：談話室

料金：100円程度(参加費)

担当：国井 ☎0287-84-2446

石川 ☎0287-84-2383

由参加)

日時：毎週金曜日

午前9時30分～11時

場所：研修室

料金：無料

担当：平野 ☎0287-84-2479

永野 ☎0287-84-2410

陣内教授を迎え研修会を開催 高齢者見守りネットワークとは…

11月8日に宇都宮大学教育学部教授の陣内雄次氏を講師に迎え、地域包括支援センターが「高齢者見守りネットワーク登録事業者研修会」を市役所南那須庁舎で開催しました。

高齢者見守りネットワークとは、

地域包括支援センターへ連絡した

地域の皆さんが、日常の生活や仕事の中で、高齢者の「ちょっと気がかり」なこと(長期間新聞や郵便物がたまって、顔や腕などに不自然なあざがある、会話をしている話のつじつまが合わない等)に気づいたときに

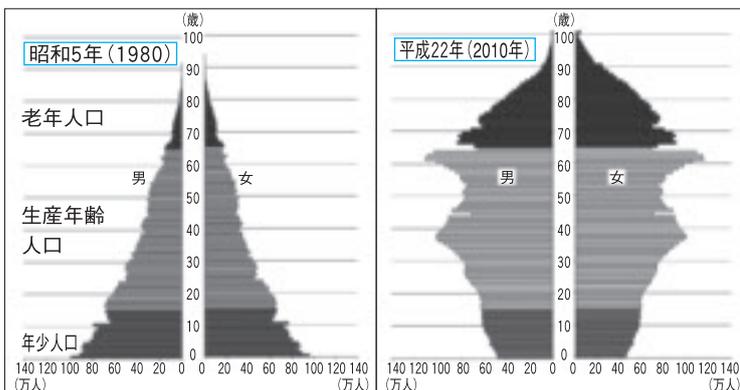


上/陣内教授が見守りネットワークの現状と必要性について講演。下/研修内容に耳を傾ける参加者。

この事業に協力する登録者は、民生委員児童委員協議会、介護保険事業所、警察、消防署、病院、銀行、商店など合わせて260の機関(12月1日現在)になっており、今回の研修には39人が参加しました。講演で陣内教授は「地域の現状は、コミュニティ衰退に対する危機感、少子高齢化による担い手の不足、地域への関心の希薄化等の問題がある。さらに独居高齢者の増加と孤立化が進んでいる。それ

らを解決するために見守りネットワークには地域の『心地よいわずらわしさ』が必要であり、さりげない見守りが地域の安心感、いざという時の力になる。また、ネットワークづくりの基本には情報を共有するための『居場所づくり』が重要であり、市内各地で行われている『いきいきサロン』や新たに始まった『向田ふれあいの里』に参加される皆さんからの情報がネットワークの推進につながっていく」と話されました。その後、参加者同士の意見交換なども行われ、事業をより良くするための話し合いが進められました。

人口ピラミッドの変化(総務省HPより)



7115までお問い合わせください。

第7回 那須烏山マラソン大会



保健福祉センターを一斉にスタート。

合併後最多の1616人が

那須烏山路で健脚を競う

木枯らしが吹く中、初冬の那須烏山路を駆け抜ける「那須烏山マラソン大会」が12月4日、市保健福祉センターを発着点に開催されました。7回目を迎える今回は、合併後最多の1616人が県内外から参加し、距離、男女、年齢別に全17クラスで健脚を競いました。

開会式では、主催者を代表してマラソン大会実行委員会の堀江勝副委員長及び大谷範雄市長が歓迎や激励の言葉を述べました。また、青森県や京都府など遠方からの参加者17人に「はるばる来たので賞」が贈られました。

選手はウォーミングアップ後、ハーフコース、ウォーキング、5キロ、3キロ、2キロの順にスタート。最初のハーフコースには579人が参加し、ピストルの合図で一斉にスタートすると、沿道からの声援に手を振って応えるランナーもいました。ウォーキングコースでは、市体育指導委員と一緒に5・5キロを歩き、那須烏山市の豊かな自然を満喫しました。2キロ、3キロコースなどでは、地元の小・中学生が力走する姿や、それぞれのペースで走りながらもしっかりと手をつなぎゴールする親子の

姿も見られました。

会場では、烏山ふるさと太鼓の皆さんが、威勢のいい演奏で次々とゴールする選手を迎えました。また、食生活改善推進団体連絡協議会による豚汁の無料提供も行われ、選手たちはおいしそうに食べていました。

レース後には、各種目上位6人が表彰されました。今年は2キロ親子の部と5キロ一般女子39歳以下の部、ハーフ一般男子50歳以上の部で大会記録を更新しました。5位ごとの飛び賞では、地域の特産品などが贈られました。

なお、本大会は東日本大震災チャリティーマラソンとして開催され、参加者全員から事前に寄せられた14万4700円が市の義援金に寄付されました。



スタート直後、声援に応えるランナー。

部門別上位入賞者(敬称略)

【2 km小学生5・6年男子】

- ①須藤恒気(千葉県)
- ②岡本情一(千葉県)
- ③羽石圭吾(宇都宮市)

【2 km小学生5・6年女子】

- ①高野萌(宇都宮市)
- ②石田萌夏(宇都宮市)
- ③石井沙耶(福島県)

【2 km親子(幼児～小学2年生)】

- ①遠藤忍・愛翔(福島県) **大会新**
- ②大内秀明・瞬(茨城県)
- ③磯野大・心(那珂川町)

【2 km親子(小学3・4年生)】

- ①岡本将明・優星(千葉県)
- ②深井悟・琉聖(さくら市)
- ③松山崇之・和希(大田原市)

【3 km中学生女子】

- ①岩井美月(大田原市)
- ②鈴木晴瑛(宇都宮市)
- ③小堀真生(那須烏山市曲畑)

【3 km一般女子】

- ①関根天子(那須塩原市)
- ②土屋明日香(さくら市)
- ③大森沙織(那須烏山市小倉)

【3 km男子全般】

- ①堀江裕也(茨城県)
- ②村瀬雅人(高根沢町)
- ③板垣了司(茨城県)

【5 km中学生男子】

- ①近藤雄一郎(福島県)
- ②阿久津健(福島県)
- ③藤田修平(那須烏山市小倉)

【5 km一般男子39歳以下】

- ①小黒勇気(宇都宮市)
- ②増田涼(茨城県)
- ③根本強(茨城県)

【5 km一般男子40歳以上】

- ①大久保茂(益子町)
- ②服部隆志(真岡市)
- ③星誠(日光市)

【5 km一般女子39歳以下】

- ①館舞耶(福島県) **大会新**
- ②濱岸利香(宇都宮市)
- ③大菊有希(宇都宮市)

【5 km一般女子40歳以上】

- ①佐藤文江(宇都宮市)
- ②小松原美貴(那須烏山市南)
- ③古口靖子(宇都宮市)

【ハーフ一般女子18歳以上】

- ①八木景子(茨城県)
- ②金子紫織(那須烏山市上境)
- ③山口恵美(茨城県)

【ハーフ一般男子16～39歳】

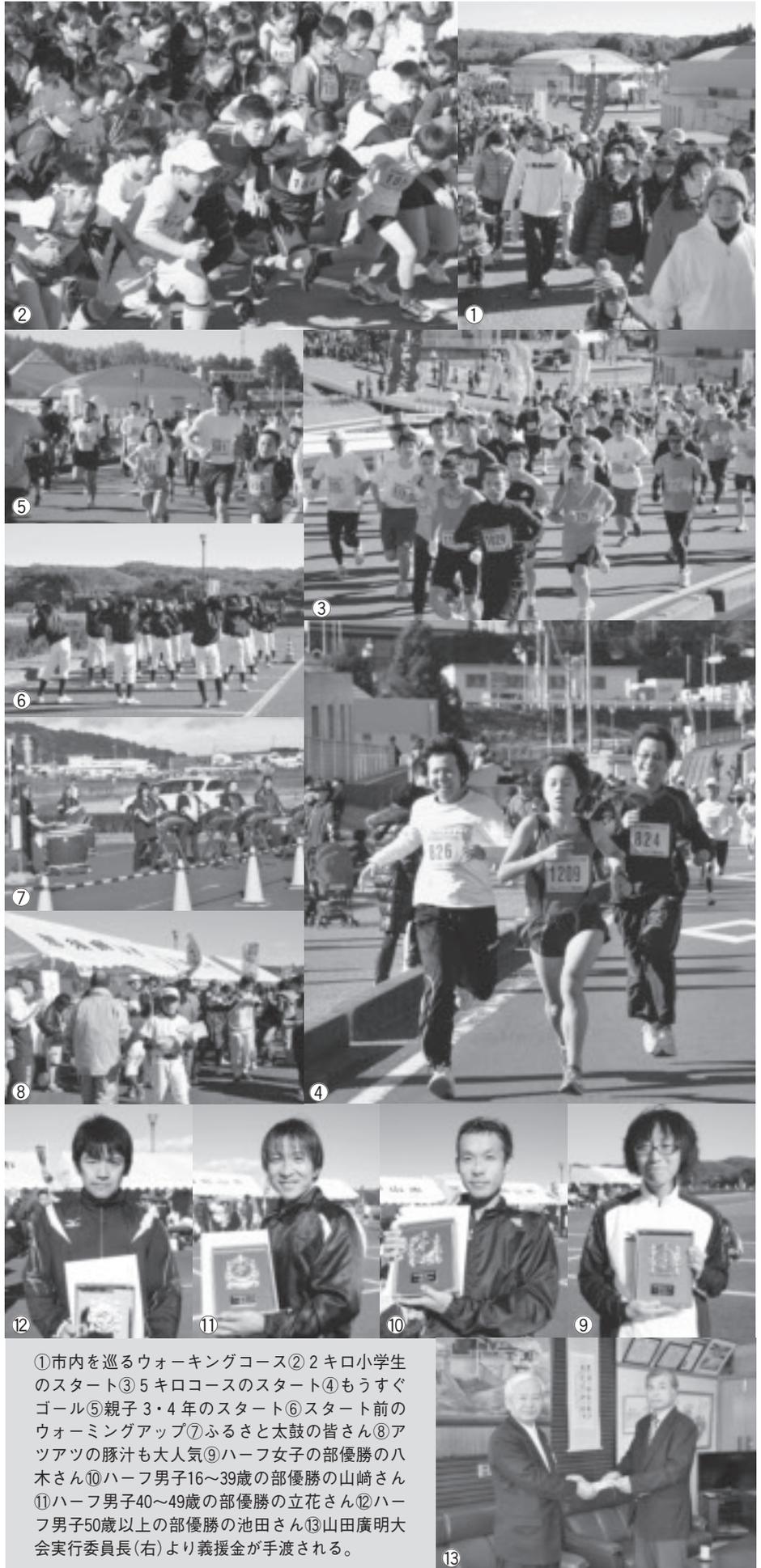
- ①山崎幸一(岩手県)
- ②高松昭記(真岡市)
- ③金子一則(茨城県)

【ハーフ一般男子40～49歳】

- ①立花則夫(愛知県)
- ②高坂治彦(福島県)
- ③阿久津憲一(宇都宮市)

【ハーフ一般男子50歳以上】

- ①池田博(茨城県) **大会新**
- ②白井文人(福島県) **大会新**
- ③渡邊一昭(東京都) **大会新**



①市内を巡るウォーキングコース②2キロ小学生のスタート③5キロコースのスタート④もうすぐゴール⑤親子3・4年のスタート⑥スタート前のウォーミングアップ⑦ふるさと太鼓の皆さん⑧アツアツの豚汁も大人気⑨ハーフ女子の部優勝の八木さん⑩ハーフ男子16～39歳の部優勝の山崎さん⑪ハーフ男子40～49歳の部優勝の立花さん⑫ハーフ男子50歳以上の部優勝の池田さん⑬山田廣明大会実行委員長(右)より義援金が手渡される。



平成23年度一般会計補正予算など14議案を可決

農地農業用施設災害復旧事業の施行、

市立図書館指定管理者の指定等を決定

平成23年第7回那須烏山市議会12月定例会が、11月29日から12月2日まで4日間の日程で開かれ、23年度補正予算や条例の一部改正、人事案件、農地農業用施設災害復旧事業の施行や市立図書館の指定管理者の指定など14議案が原案どおり可決されました。主な内容は、次のとおりです。なお、一般質問など詳しくは議会事務局(☎0287-88-7114)までお問い合わせください。

指定管理者が決定した市立図書館。



6会計の予算を補正
23年度補正予算

○一般会計

歳入・歳出ともに2億5277万円増額して、補正後の予算総額を147億745万6千円としました。

主な内容は、市有財産及び庁舎等の修繕費、公共施設予約システムのための業務委託料、



台風15号による農地等の災害。

職員給与、広域行政事務組合負担金、緊急雇用創出事業を活用した観光PR事業のための業務委託料、観光施設の修繕料、道整

備交付金事業費、基準点補正のための地籍調査事業費、消防団員等の公務災害損害補償金、新設する学校給食センター整備費、台風15号により被災した農地・農業用施設・林業用施設・市道等の復旧費等です。

子ども手当給付費、がれき等処理費、公募提案型緊急雇用創出事業費、業務不能となった南那須給食センター運営費職員給与等は減額しました。

○特別会計

国民健康保険の事業勘定を3

54万6千円増額し、34億8869万2千円としました。内容は、22年度特定健診の国・県補助

金確定及び人事異動に伴う職員給与費です。また、施設勘定を22

万2千円増額し、8622万2千円としました。内容は、七合診療所の備品購入費です。

介護保険は、962万1千円

増額し、23億1959万円としました。内容は介護給付費、介護サービス等諸費、介護保険災害臨時特例事業費です。

下水道事業は、50万円増額し、

3億8540万円としました。内容は南那須水処理センターの漏水修繕費です。

簡易水道は、745万円増額し、

1億2348万2千円としました。内容は配水管の漏水調査及び修繕費です。

○企業会計

水道事業は、収益的収入の他

会計補助金等を617万9千円

増額し、5億6039万6千円

としました。収益的支出の配水及び給水費等を1118万円増額し、5億3319万7千円と

しました。資本的支出は、高瀬トンネル内の配水管布設計のため下水道整備費を201万6千円増額し、5億1040万3千円としました。

条例の一部改正

非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例

スポーツ基本法の施行に伴う一部改正です。

市職員給与と条例等

一般職員の給料表の引下げ改正等に伴う関係条例の一部改正です。

市立学校設置条例等

七合中学校の廃校に伴う一部改正です。

市立図書館設置及び管理条例

市立図書館の指定管理者導入に伴う一部改正です。

人事

人権擁護委員候補者の推薦

平成24年3月31日に1人が任期満了となるため、新たな委員として小林洋子氏の推薦が同意されました。

その他議決事項

栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加、共同処理する事務の変更、規約の変更

平成24年4月1日から栃木県後期高齢者医療広域連合が、栃木県市町村総合事務組合に加入し、同日から非常勤職員の公務災害又は通勤災害に対する補償事務を共同処理することに伴う変更です。

平成23年度農地農業用施設災害復旧事業の施行

平成24年4月1日から市立南那須台風15号による農地・農業用施設災害復旧事業工事123か所を市の事業として施行するものです。

市立図書館の指定管理者の指定

平成24年4月から市立南那須図書館及び烏山図書館の指定管理者として、「大高商事・大新東ヒューマンサービス・藤井産業共同事業体」を指定するものです。

市教育委員会会報

平成23年度
【第3四半期】10～12月

第11回教育委員会(10月25日)

- 平成24年度小・中学校職員定期異動方針(案)を決定
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を決定
- 就学指定校の変更を決定
- 那須烏山市教育委員会事務局等組織及び処務規則の一部改正を決定
- 那須烏山市教育委員会事務局任規則の一部改正を決定

第12回教育委員会(11月24日)

- 那須烏山市立学校設置条例等の一部改正を決定
- 那須烏山市非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正を決定
- 那須烏山市体育指導委員設置

規則の一部改正を決定

- 那須烏山市立図書館設置及び管理条例の一部改正を決定
- 那須烏山市立図書館の指定管理者の指定について決定
- 平成23年度那須烏山市教育費予算の補正を決定
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を決定
- 那須烏山市教育委員会事務局検・評価を決定
- 那須烏山市教育委員会委員長の選挙
- 委員長に塩野榮司氏が当選
- 那須烏山市教育委員会委員長職務代理者の指定
- 委員長職務代理者に平野加寿子氏を指定

第13回教育委員会(12月20日)

- 学校給食センター新築工事の実施について決定
- 全国学力・学習調査の取扱いについて決定
- 那須烏山市学校再編検討委員会の設置について決定
- ☆10/8 下江川中学校、荒川中学校、七台中学校文化祭、学校祭出席
- ☆10/15 サタデースクール開校式出席
- ☆11/9 県市町村教育委員会委員研修出席
- ☆11/30 教育委員辞令交付式
- ☆12/5 那須烏山マラソン大会出席

市の工事請負等契約

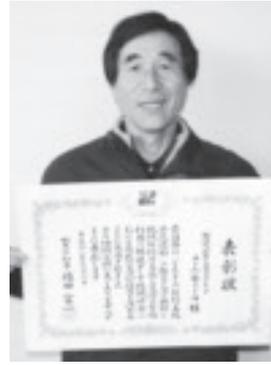
(前月20日までの入札結果、単位は千円、250万円以上)

事業名	箇所	業者名	金額	工期
小木須児童館解体工事	小木須	(株)平野建設	4,378	11/30～2/10
鴻野山小倉線道路台帳作成業務委託(道整備交付金事業費) その61	鴻野山	フジ測量設計(株)	2,940	12/1～3/23
富士見台工業団地線道路台帳作成業務委託(道整備交付金事業費) その61	藤田	宇都宮測量(株)	5,407	12/1～3/23
田野倉曲畑線道路整備工事その2	曲畑	荒井工業(株)	34,125	12/26～3/26
野上下境線道路整備工事その1	野上	渡邊建設(株)	23,100	12/26～3/26
野上下境線道路整備工事その2	野上	(株)平野建設	37,380	12/22～3/26
マンホール内ポンプ設備工事	初音	平成理研(株)	26,239	12/12～3/26
上境地区防火水槽築造工事	上境	(有)田村建設	4,410	12/16～2/28
平成23年度 県単独農業農村整備(農道整備)事業 大里地区 道路工事	大里	(有)板橋建設	5,985	12/12～3/9

※入札等に関するお問い合わせは、総務課管財係 ☎0287-83-1111 まで。

「チーム龍JIN」 環境美化の功績で知事表彰

那須烏山市災害ボランティア「チーム龍JIN」(小堀道和キャプテン)が12月3日、環境美化の功績で栃木県知事から表彰されました。



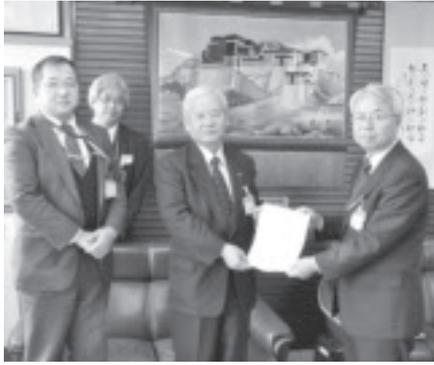
表彰状を手にする小堀さん。

「とちぎの環境美化県民運動」の趣旨を理解し、地域環境の美化と資源の有効利用の推進などに尽力したことが評価されました。

「チーム龍JIN」は、東日本大震災に伴う東北被災地支援のほか、市内でも震災による個人宅の片付けや、台風15号による浸水宅の片付けなどにも取り組んできました。小堀キャプテンは、「今後は被災者の『心のがれき』も取り除きたい」と話していました。

JPから「かもめーる」などの寄付金配分

日本郵政グループJPから、東日本大震災寄付金付の「かもめーる」及び特殊切手による寄付金のうち、



日本郵政グループの皆さん。

「非常時災害救援等物資の備蓄配備のための災害対策事業費」として39万3000円が那須烏山市に交付されることになりました。また、同グループ社員有志による「黄色いポスト募金」の配分金3万円が交付されました。

12月9日には、郵便事業(株)宇都宮東支店の山田哲夫支店長から大谷範雄市長に「震災の復興に役立ててください」と寄付金配分通知書が手渡され、続いて下江川郵便局の高野淳局長から、黄色いポスト募金配分金が手渡されました。

「引きこもり」テーマに

教育支援研修会

12月11日、江川地区学校支援地域本部(望月千登勢本部長)が地域教育コーディネータ養成事業



横松さんによる講演会。

の「一環として、「引きこもり」や「無就業者」などの若者を地域社会がどのように支援していくか



7グループに分かれての座談会。

をテーマに、教育支援ネットワーク研修会を南那須図書館で開催しました。

まず初めに、とちぎユースワーカーレズジ事務局長の横松陽子氏による「立ち止まる若者の背景」と題した講演が行われ、同カレッジに通う若者の状況や立ち止まる若者の背景などがわかりやすく解説されました。

また、NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク共同代表の岩井俊宗氏による「元気な若者を育む地域とは」をテーマとした座談会も行われました。

地域で抱える問題を質問。



向田地区で市政懇談会

12月20日、烏山南公民館で向田地区自治会による市政懇談会が開催されました。同地区の自治会から13人、市側から大谷範雄市長、石川英雄副市長など8人、来賓として市議会から滝田志孝議長など4人、県議会の三森文徳議員が出席しました。

当日は、向田地区の自治会を代表して、奥畑幸一向田連合自治会長があいさつし、続いて大谷市長が市政全般にわたる現状などをふまあいさつしました。

その後、各出席者から「災害時の情報提供」「地域の道路整備」「放射線量の調査と結果の公表」など8項目の質問が出され、大谷市長がひとつずつ丁寧に答えました。